

ふくしま 再生 短信

2018/9/30 佐須老人クラブ民謡公演

♪ 相馬恋しやなつかしや ♪ ＜ 新 相 馬 節 ＞

2018年9月30日午前10時50分より佐須公民館（旧佐須小）で佐須老人会開催、冒頭に菅野永徳会長から「菅野宗夫家のお祖父ちゃん・次男さんが昨日天寿を全うされた。本日は皆の心をひとつにして相大内定子さん＜相馬二偏返し＞馬の歌でお送りしたい」との挨拶があった。振り返ってみると、2014年4月13日小宮地区大久保金一農園マキバノハナヅノでの桜の植樹祭の最後に歌い上げた菅野次男さんの新相馬盆歌

（動画リンク）の合いの手＜ナンダコラヨート＞はまことに記憶に新しい。

相馬民謡堀内流飯館同好会（会長・大内定子さん）



老人クラブのみなさん

のみなさんが紹介されこの日の公演が始まった。始



杉岡秀爽さん＜相馬節＞

まりは「さんさ時雨」、仙台藩にゆかりがあるという古い民謡である。「相馬草刈り歌」はつい踊りだしたくなり元気が出てくる、合いの手＜ナンダコラヨート＞が嬉しい。「北方二偏返し」に続いて「相馬二偏返し」では＜伊達と相馬の境の桜（ハアコラヤノヤ）＞、心に響くくだりだ。

「新相馬節」、「相馬土搗き唄（うつきうた）」、「かんちょろりん節」、「相馬大漁祝い唄」、「相馬節」と続く。「相馬節」＜ハー 相馬相馬と木萱もなびくナンダコラヨート（アー チョイ チョイト）＞の後、ハーモニカ演奏を挟んでトリは「相馬流れ山」、相馬武士が正装で登場、法螺貝と陣太鼓が響き渡り相馬野馬追いを彷彿とさせる勇壮かつ威厳のある神々への奉納のフィナーレとなった。

（文責&撮影・若林一平）

相馬民謡堀内流

この日の出演のみなさんは「相馬民謡堀内流飯館同好会」の方々である。同好会会長・大内定子さんは同流師範の資格をお持ちの方で、2代目家元の杉本秀澄先生から直接指導を受けている。同好会の揃いの着物の意匠は野馬追いの馬をあしらっている。杉岡秀爽さんも師範の資格

をお持ちの方である。大内さんが心配されてくれることを願うばかりである。

れているのは後継者が育っておらず、このままでは堀内流の伝統はご自分の代で途絶えてしまうことである。できれば若い世代の後継者が現



【写真は同好会のみなさん：前列左から、大内定子さん、小林美恵子さん、後列左から、佐藤口クさん、高橋サキ子さん、杉岡秀爽さん、佐藤公喜さん、佐藤茂さん】